

(3) 今後の運営について

営業再開後、2年目を迎えた今年度は、入浴者数が大幅に改善しました。大きな要因は、昨年度のアンケート結果から見えてきた入浴者像である「近隣市に在住する高齢者で、とどろき荘の泉質の良さを好む」入浴者が定着していると考えます。また、播磨地域の有料情報誌まるはりへの掲載も新規入浴者を増やす媒体として効果的であったと考えます。

この2年間で入浴者増加に向けて一定の取組を試み、今年度は収支改善したものの、今後の課題として、各サービスを実施する中で利用者を複数回入浴につなげるための顧客管理・分析力の強化が必要であると考えています。

今後も、利用者から「とどろき荘の泉質は他の施設より良い。体の芯から温まり、冷めにくい」という、うれしい声が増えていくよう、取り組んでいきます。

最後に、新型コロナウイルス感染防止の動きは、とどろき荘の入浴者数にも大きく影響していることから、今後も利用者や従業員の安全、そして施設の衛生を第一に考え、運営していきます。

この影響が4月以降いつまで続くのかが、翌年度の経営に大きく影響するものと考えます。